

事例紹介

山口県光市立 ^{み い}三井小学校2人1組のドリルで、
共に学ぶ喜びを高める！

～eライブラリ×コミュニケーションで学びが広がる～

三井小学校は、単元のまとめのドリル学習やクイズ作成、保護者への連絡など、様々な場面でeライブラリを活用しています。今回は、児童間のコミュニケーションを意識した取り組みをご紹介します。

授業 2人組ドリル学習で、学びあう力を育てる

6年生担任の佐藤先生は、単元や学期末のまとめにドリルをよく活用しています。そこには、2人組で取り組むことで、共に学ぶ喜びを高めようとする先生の工夫がありました。

● 2人組でドリルに挑戦！

ドリル学習時は、学級を2人組コースと1人コースに分けています。パソコンが得意な子どもは立候補して1人でドリル学習を行い、それ以外の子どもたちは2人1組で行います。

パソコンや勉強が苦手な子どもでも、ペアを組んで友達と協力してドリル問題を解くことで、**コミュニケーションが生まれ、楽しく学習できる**そうです。

「1人だけでなく、**2～3人でも勉強できるような学級を作ることが大切**です」と佐藤先生。子どもたちの性格や特性に合わせた学習方法を取り入れていました。



● 「なぜ？」も「できた！」も分かち合おう

間違えた問題やわからない問題があった時は、2人で教科書を読み返し、一緒に調べながら解決を図ります。

こうして**“なぜ？”を共有し、友達と協力して答えを見つけることで、正解した喜びや達成感を共有でき、1人で取り組む以上の意欲や集中力が生まれる**そうです。子どもたちは懸命に話し合いながら、授業の最後まで熱心に取り組んでいました。



情報担当 佐藤先生の思い



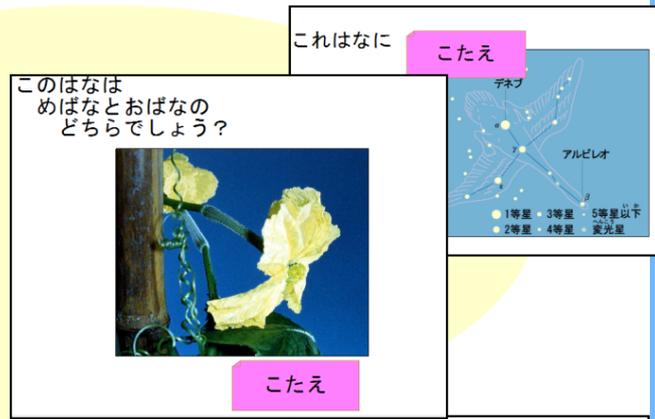
パソコンは1人1台の環境がないと不便だと思われがちですが、**グループで使うことでコミュニケーションが生まれ、積極的に友達と相談・協力する姿勢が育ちます**。また、45分間ドリルを一人で解き続けることが難しい子も、**2人でやれば楽しくてあっという間に時間が過ぎてしまいます**。

三井小学校では、eライブラリが学習内容の定着だけでなく、コミュニケーションツールとしても役立っています。

● シンプル操作で手軽にまとめ問題

昨年度の5年生のときは、理科の授業でステープラを使ったまとめクイズを作成しました。ステープラはボタンがわかりやすく、直感的に操作できるため、子どもたちもすぐに慣れたそうです。

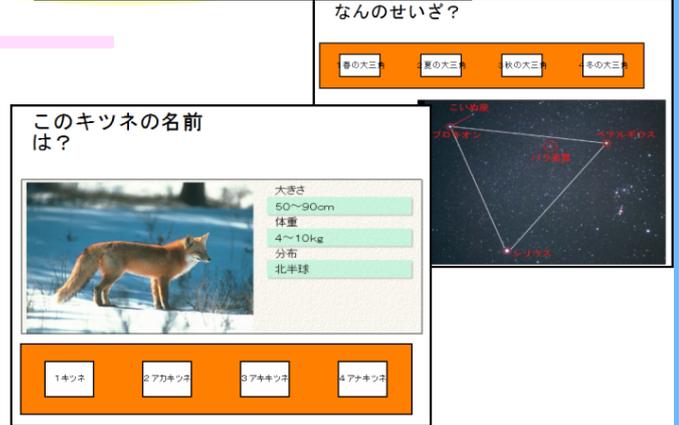
特に画像を簡単に取り込める「画面取り込み機能」が人気で、子どもたちは百科事典や図鑑の写真を使って、楽しいクイズを作成していました。



● ステープラもコミュニケーションツールに!

ステープラの作成中も佐藤先生は、操作方法について「自分だけわかってはだめだよ。両隣の子ができていないとできたことにしないよ」と、子ども同士の教え合いが広がるよう指導をしています。

操作を教え合ったり、質問や感想を交わすコミュニケーションを通して、子どもたちは「こんなやり方もあるんだ」と発見し、次の問題作成に活かしていくのだそうです。



三井小学校では、台風情報や不審者情報、インフルエンザのための休校情報などに、紙の連絡と併用して連絡メールを利用しています。

95%と高い登録率には、三井小学校がオリジナルで作成した案内文書に理由がありました。

★三井小学校オリジナル文書

表

平成26年4月22日

三井立三井小学校
校長 藤野 昌士

H26保護者メールシステム開始

登録されますと、運動会の実施の有無・インフルエンザでの学級閉鎖など、緊急の情報が、学校連絡網などの電話での連絡よりも早く分かります。

新1年の保護者の方々、登録をお願いします。

学校には個人アドレスは分かりません。セキュリティはセコムが行います。

これまで登録していただいている方は、再登録の必要はありません。

すでに学年が1つ進んでいます。

ただし、**1年児童の追加は必要です。**

学年単位での登録です。

学年単位とします。学級単位での連絡を行う場合は、電話で行われます。

もしうまく登録できない場合は、ご足労ですが、職員室までお越し下さい。

①保護者は学校認証ID「**■■■■■-■■■■■**」だけを知っていれば、簡単に登録できます。

普段、携帯やスマホで登録するのと同じようなやり方です。

②携帯のアドレスが変わっても、保護者の方で簡単に変更ができます。

③「登録していただいた方を、学校で認証する」という形で登録が完了します。

登録が認証されたら、メールが届きます。

詳しくは裏面をご覧ください。お忙しい折だとは思いますが、よろしくをお願いします。

● 基本は大きく書いて目立たせる

三井小学校の連絡メールの保護者向け案内文書は、表面に佐藤先生が考案されたオリジナル文書、裏面がシステムから出力される案内文書という構成で作られています。

「表面に重要事項だけを大きく書くことで、簡単に登録できると感じてもらえます」と佐藤先生。ポイントのみを表面にまとめ、詳しくは裏面を見るよう保護者をナビゲーションしていく、先生の工夫が光ります。

裏

既存の案内文書

SAMPLE

連絡メールの保護者登録について

(学校名)

この案内文書は、学校と保護者の共通の連絡手段として、「連絡メールサービス」を開始することになりました。保護者の皆様は、携帯電話やパソコンで、学校からの配信メールを受信できます。

下記のサービスの概要や利用方法を参考のうえ、ぜひご登録いただきますようお願いいたします。

1. サービスの概要

- 学校から保護者の住所の携帯電話やパソコンに、メールを受信できるサービスです。
- ご利用は無料です。通信料のみをご家庭での負担となります。
- 登録のメールアドレスは、学校にはわかりませんが、個人情報がきちんと保護されています。
- 下記のサービスの概要や利用方法を参考のうえ、ぜひご登録いただきますようお願いいたします。

2. ご利用方法

利用を希望される方は、メールアドレスの登録が必要で、携帯電話あるいは、パソコンより下記の「登録メールアドレス入力画面」を読み取ります。

[entry@education.ne.jp] を宛先に入力し、空メールを送信します。

登録の順には、次の学校認証ID (数字8桁) の入力が必要です。

学校名 → □□□□市□□□□中学校
学校認証ID → 1234-5678

なお、登録が終わりましたら、登録したメールアドレスと本人が登録したパスワードを覚えてください。登録したメールアドレスを変更したときなど、登録内容を更新する際にお役立ちです。

メールアドレス: □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

● 「便利」のロコミで登録率上昇

高い登録率のもう1つの要因は、登録済みの保護者から「メールは便利」というロコミが広がったからだそうです。

使っているからわかる便利さを保護者同士が共有することによって、徐々に登録率が上昇したそうです。